

市民協働事業助成金について

市民公益活動団体が、市の課題解決・地域活性化に向け、その知識・技術を生かし、自主的・主体的に取り組む事業が、助成金の交付や市職員等派遣支援を受けられる制度。

- 応募できる団体 市内のNPO・ボランティア団体が対象です。
- 対象期間 4月1日～3月10日（最大3年度間。毎年審査あり。）
- 対象事業 市民公益活動団体が主体となる事業、地域の活性化に資する事業または社会や地域における課題の解決が図られる事業、市の主要課題に該当する事業
- 対象外の事業 定期的・継続的に行われている親睦事業や祭礼、国、県、市の他の助成の対象となった経費等
- 支援内容 助成金交付：上限50万円、補助率1/2以内
専門家等の技術的な支援（職員派遣等）
- 応募期間 令和8年4月半ば～5月末日（予定）
- 応募方法 申請書と添付書類を佐倉市自治人権推進課に提出してください。
- お問い合わせ 佐倉市自治人権推進課 Tel：043-484-6127
詳しくは佐倉市ホームページ「市民協働事業」をご確認ください。
<https://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/jichijinkensuishinka/186/5581.html>



佐倉市公式HP

佐倉市サポセンチャンネル

佐倉市市民公益活動サポートセンターのYouTubeチャンネルです。イベントの様子や登録団体の活動の紹介等を行っています。



サポセンチャンネル

～イベント情報～



●市民活動発表会2025 つたえる、ひろがる、私達の活動

市民公益活動団体の発表の場として、「市民活動発表会」を開催します。

日時：令和7年11月30日（日）
9時45分～15時（予定）

場所：佐倉市立中央公民館
（佐倉市鎗木町198-3）

お問合せ先：佐倉市市民公益活動
サポートセンター

電話/FAX：043-484-6686

e-mail：saposen@city.sakura.lg.jp

●第4回 0歳から大人まで楽しめる はじめまして！クラシックコンサート

市民協働事業採択団体「ユーカーリ愛音会」が主催する、親しみやすいクラシック音楽のコンサートです。赤ちゃんから大人まで楽しめる内容で、演奏後には楽器に触れられる体験コーナーもあります。

日時：令和7年12月7日（日）11時00分開演
（10：30開場、休憩なし約60分）

場所：佐倉市志津コミュニティセンター大ホール
（佐倉市井野794-1）

料金：大人1,500円
こども500円（小学生以下）

お問合せ先：ユーカーリ愛音会

電話：050-1726-2422

e-mail：yukari.ainekai@gmail.com



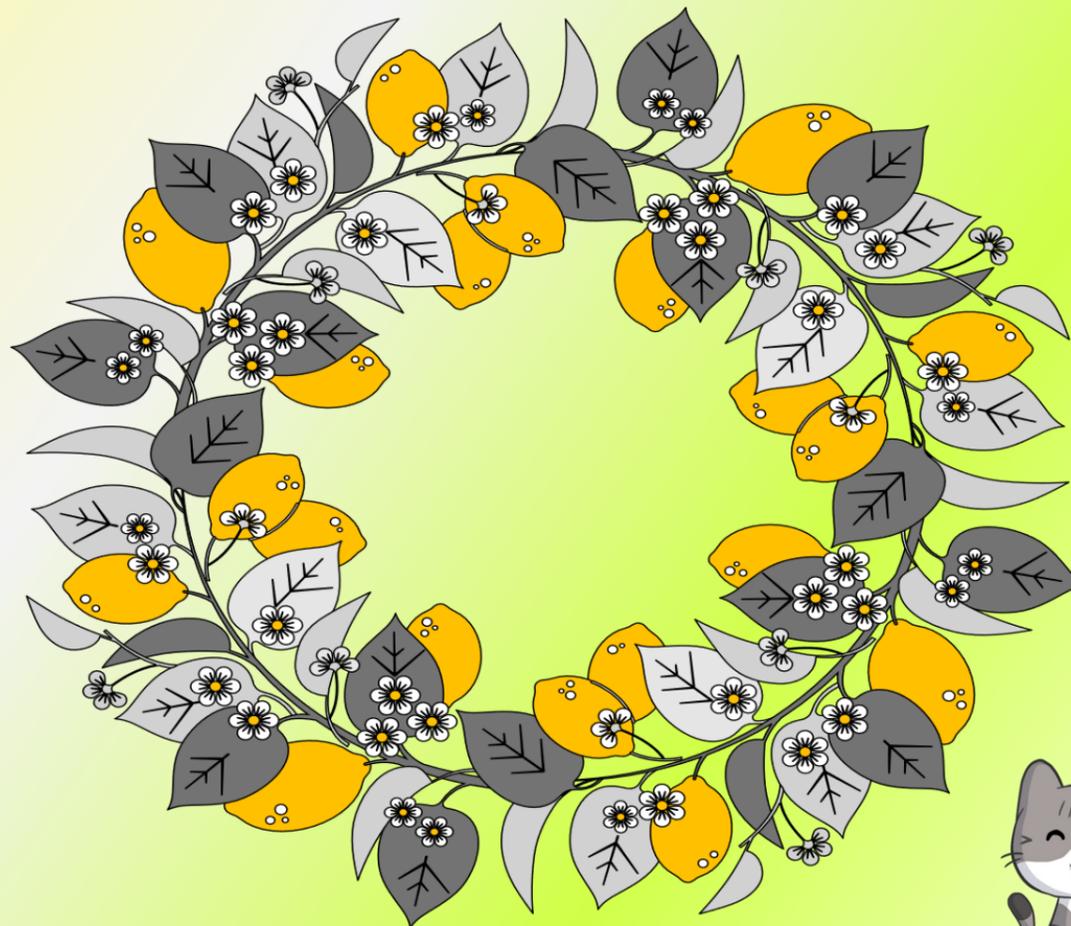
チケット情報

2025年度
第1号

市民協働情報誌

まちづくりいしよ！

令和7年度 市民協働事業採択団体のご紹介



ユウカリ愛音会

事業名「文化・音楽芸術の振興事業」



ユウカリ愛音会は、幅広い世代の方々に本物のクラシック音楽や楽器に親しめる機会を増やし、「音楽を身近に感じることができる環境を作ること」を目的に、2021年4月に設立された音楽団体です。東京藝術大学をはじめ、国内外で研鑽を積んだプロの演奏家が集まり、「子どもと一緒に聴ける演奏会を開きたい」という思いに賛同した仲間が結成しました。児童センターや学校、福祉施設など身近な場所での演奏を通じて、赤ちゃんから大人まで誰もが気軽に音楽に触れられる場所づくりを大切にしています。

ユウカリ愛音会の公演は、ただ演奏を聴くだけでなく、楽器紹介やお話を交えた解説を取り入れ、参加者が音楽を理解しながら楽しめる構成が特徴です。12月7日には、志津コミュニティセンターで「～0歳から大人まで楽しめる～はじめまして！クラシックコンサート」を開催予定。たくさんのお名曲や、映像と朗読付の音楽絵本、子ども用分数楽器の体験、ジョイントマットでの鑑賞など、家族で楽しめる内容を用意しています。また、今年度よりスタートした、午前午後で対象年齢を分けた公演も好評で、世代に応じた音楽体験の提供に力を入れています。子育て世代にも配慮した環境づくりを行いながら、地域に根ざした音楽活動を展開しています。

今年度の取り組みの一つとして、北志津児童センターで七夕コンサート（7月1日）を開催しました。ピアノ・ヴァイオリン・チェロによる演奏に加え、リトミックや振動体験などを取り入れ、未就学児と保護者が音楽を五感で楽しめる内容となりました。さらに、印南小学校での芸術鑑賞会も予定しています。このプログラムは、全校児童を対象に、クラシック音楽を身近に感じてもらうことを目的としています。ピアノ・ヴァイオリン・チェロの生演奏に加え、楽器紹介や音の仕組みをわかりやすく解説し、児童と一緒に歌うコーナーも設けるなど、参加型の内容を計画中です。こうした工夫を通じて、子どもたちの感性を育み、音楽の楽しさをより深く伝えることを目指しています。



今後は、教育施設や福祉施設での訪問演奏に加え、異業種とのコラボレーション企画や、音楽を学ぶ子どもたちへの専門的な指導を行う講座の開催も予定しています。クラシック音楽をもっと身近に、もっと自由につなぐ場を、これからも広がっていきます。地域の文化を育む仲間として、皆さまと一緒に新しい音楽の形を創り続けたいと考えています。現在、個人・法人協賛や、チラシ配布にご協力いただける方を募集しています。

【お問い合わせ】 ホームページ：<https://ainekai.com>
メール：yukari.ainekai@gmail.com

「くさのねフェスティバル実行委員会」

事業名「くさのねフェスティバル2025」



『くさのねフェスティバル』は、2017年に佐倉市の委託事業として始まった野外音楽イベントです。豊かな自然に囲まれた「佐倉草ぶえの丘」を会場とし、音楽と自然が調和した空間として多くの来場者を魅了してきました。BUMP OF CHICKENやHalo at 四畳半など、全国で活躍するバンドを輩出してきた佐倉の音楽的魅力を活かし、「佐倉はロックの産地」という合言葉のもと、地域の未来を見据えた取り組みとして開催されています。若者や子育て世代の定住・転入を促し、地域経済の活性化を目指す、音楽を通じた地域づくりの一環です。

今年で8年目を迎えますが、台風による中止を挟み、開催は今回で7回目です。9月6日・7日の2日間、佐倉ゆかりのアーティストが草ぶえの丘の特設ステージで熱演し、音楽と地域が一体となり、大きな盛り上がりを見せました。

くさのねフェスティバルは、毎年新たな企画を取り入れながら進化を続けています。今年度は「オーディションライブ」を新設し、高校生アーティストの参加を促進。佐倉出身アーティストの出演も呼びかけ、地域との絆を深めました。さらに、酷暑対策や楽屋環境の整備にも取り組み、誰もが安心して楽しめる場の実現に努めています。

今後は、教育施設や福祉施設での訪問演奏に加え、異業種とのコラボレーション企画や、音楽を学ぶ子どもたちへの専門的な指導を行う講座の開催も予定しています。クラシック音楽をもっと身近に、もっと自由につなぐ場を、これからも広がっていきます。地域の文化を育む仲間として、皆さまと一緒に新しい音楽の形を創り続けたいと考えています。現在、個人・法人協賛や、チラシ配布にご協力いただける方を募集しています。



出演者は毎年異なる顔ぶれがそろい、多彩なステージが展開されます。高校生を中心としたボランティアの参加も増え、地域と若者の交流の場として広がりを見せています。こうしたイベントを支えるのが、実行委員会です。佐倉市でライブハウスを運営する白幡会長を中心に構成され、制作・運営・音響・物販など、各メンバーが得意分野を活かして役割を担い、毎月の会議を重ねながら本祭に向けて準備を進めています。ステージ数は当初の2つから4つに増え、照明や音響機材も整備され、年々スケールアップを続けています。

今後は草ぶえの丘全体を使った、より大規模な開催を目指しています。「佐倉はロックの産地です」という合言葉のもと、地域と音楽のつながりを大切にしながら、誰もが関わりたくなるフェスティバルづくりを進めています。現在、ボランティアスタッフや実行委員として継続的に関わってくださる方を募集中です。音楽や地域に関心のある方、ぜひ来年の開催に向けて一緒に準備しませんか？

【お問い合わせ】 ホームページ：<https://kusanonefes.com/2025/>
メール：kusanonefes@gmail.com



2024年4月に設立されたNPO法人Familai 家庭・家族のミライ研究協会は、「学校と家庭をつなぐ」をテーマに、布資源の寄付と教育活用を通じて持続可能な社会を目指しています。主な活動は、小中学校の家庭科授業で使用される布の提供です。企業から制作過程で出る半端な布や、家庭で眠っている布を寄付いただき、必要とする学校へ随時送付しています。授業では、袋などの制作活動に加え、資源の利活用について学ぶ機会も設けています。代表者は現役の小中学校教員であり、家庭科の授業で「使う予定はないけれど、しかたなく製作する」という子どもたちの姿に課題を感じていました。

目的意識のない製作は、布資源の無駄につながります。そこで、寄付布を活用し「誰かのために作る」「学校に残す」など、意義ある製作を通じて、持続可能な社会づくりに貢献したいという思いからNPOを設立しました。

設立以来、布資源の再活用による環境負荷の軽減や、子どもたちが自由に挑戦できる学びの場の支援にも取り組んでいます。これらの活動は、佐倉市が掲げる「2050ゼロカーボンシティ宣言」にも貢献しており、地域と連携した持続可能な社会づくりを目指しています。

市民協働事業以外にも、以下の活動を展開しています。

- ・家庭科教育・家庭教材の開発・販売
- ・学校生活に適応が難しい子供との教育相談・カウンセリング
- ・オンラインを含む子育てセミナーの開催

現在の会員は20名、中心メンバーは5名。教育現場を熟知した教員が運営しているため、授業の課題や制度の限界に対して、地域と連携した支援が可能です。例えば、予算や教材の制約で特色ある素材が使づらい中、地域企業から寄付された藍染めの布を活用し、子どもたちが目を輝かせながら製作に取り組む授業を実現しました。こうした体験は、資源の大切さを学ぶ貴重な機会となっています。

コロナ禍を経て、「つながり」が分断されている状況が多岐にわたって見られます。Familaiは、学校と家庭のつながりを再構築し、子どもたち一人ひとりが幸せに、安心して学び、つながりを感じられるような活動を今後も継続していきます。会員にならなくとも、本NPOの趣旨にご賛同いただける方からのご協力を随時募集しています。布資源の提供など、さまざまな形でのご支援を歓迎しています。「ファミライ」で検索していただくと、公式HPから詳細をご覧いただけます。より良い社会づくりのために、ぜひ一緒に取り組んでいきましょう。

【お問い合わせ】 ホームページ：<https://www.npofamilai.com>
メール：npo.familai@gmail.com

